

令和4年度第2回仙台市廃棄物対策審議会 議事録

日 時	令和5年1月31日(火) 10:00~12:00
場 所	T K P ガーデンシティ仙台勾当台 ホール1
出席委員	久田真会長、遠藤智栄副会長、安住浩一委員、大原敦子委員、川村美智委員、佐藤進次委員、佐藤朋子委員、菅原博委員、鈴木公至委員、田村省二委員(代理出席)、沼沢しんや委員、沼田隆委員、橋本啓一委員、藤田祐子委員、北條俊昌委員、山田政彦委員、吉田美緒委員 以上17名(委員定数20名)
欠席委員	齋藤優子委員、多田千佳委員、福島康裕委員
事務局	環境局長、環境局次長、環境部長、廃棄物事業部長、施設部長、総務課長、廃棄物企画課長、事業ごみ減量課長、施設課長
傍聴人	4名(報道機関)
次 第	1 開会 2 環境局長あいさつ 3 委員紹介 4 事務局紹介 5 会長・副会長の選出 6 報告 (1) 今泉工場の建替えについて (2) 製品プラスチック分別収集の開始について (3) その他 7 閉会

1 正副会長の選出

次第5に基づき、会長に久田真委員、副会長に遠藤智栄委員を選出

2 議事要旨

発言者	議事要旨
久田会長	次第6(1)今泉工場の建替えについて、事務局より説明をお願いする。
施設課長	<資料1に基づき説明>
沼沢委員	スライド16の「今後の進め方について」のスケジュールを見ると、環境アセスメントは令和6年から令和13年までの長期の期間実施する理解でよろしいか。また、関連して、いつ頃工事が始まり、完成は何年頃を予定しているのか。
環境部長	環境アセスメントは、計画段階から、施設ができることによる環境影響を予測・評価するものだが、竣工後も調査を行い、事前に評価した結果と比較して、さらなる環境保全対策の必要性について検討する仕組みとなっている。このため、資料に示すような長期間での実施となっている。
施設課長	建設の予定だが、順調に進めば、工場棟の建設を令和9年度に着手し、新工場の稼働開始は令和13年度を予定している。このため工場棟の建設期間は令和9年度から令和13年度と想定している。
久田会長	施設の稼働中と建設工事も環境アセスメントの対象になっており、いわゆるアセスメントの部分と、事後のモニタリングを含めて、一本の線で表現されているのかと思う。
環境部長	ご指摘のとおり、工事中であれば車両の通行による騒音の発生も考えられる。そういったところも含めて評価するため、建設期間中についても、環境影響をモニタリングしていく作業が発生する。
橋本委員	まずは基本的なところを確認したい。先ほどそれぞれの工場の処理能力に対して基幹改良工事が順次実施され、今後も予定されているとのことだが、この基幹改良工事は長寿命化・大規模設備改良工事と説明があったが、この工事を行わないと何か具体的な不具合があるのか、逆に言うと、何がこの改良工事によって改善されるのかわかりやすく教えていただければと思う。

施設課長	<p>基幹改良工事は3工場とも着手しているが、施設の劣化状況に応じて手を付ける部分が若干異なっている。基幹的設備と呼ばれる焼却炉ボイラー、排ガス処理、コンベアー、クレーンなど、焼却施設の核となる部分について工事を行っている。基幹改良工事は大規模な工事になるため、一炉当たり1年弱の期間をかけて進めており、それに伴い15年～20年程度の延命化を図っている。</p>
橋本委員	<p>各工場ともに、複数の焼却炉があるが、基幹改良工事や定期点検などもあって、全部の焼却炉が稼働しているわけではない、いずれかの焼却炉は必ず止まっていると伺っている。先ほどの説明の中で、今泉工場は規模を縮小して建て替えを行うとの説明があったが、葛岡工場や松森工場、特に葛岡工場は収集業者、自己搬入の車両でかなり込み合っている。そのような状況で、今回の縮小によってさらに対応が厳しくなってくると思うが、どのように考えているのか、教えていただきたい。</p>
施設課長	<p>資料の8ページの表に、今泉工場を含めた3工場の処理実績を記載している。令和3年度は基幹改良工事の影響がほとんどない数値で、今泉工場では年間約8万トン処理している。今泉工場は、焼却炉1炉当たり200トンの処理能力があるとご説明したが、燃焼温度を上げる必要がある等の理由から、実際は焼却量を落として運転せざるを得ない状況にある。新工場の処理能力は、基本計画の中で具体的に検討していくが、現状の約8万トンが処理できれば、他の2工場と併せて仙台市全体のごみ量は処理可能であるため、処理能力の縮小は可能と考えている。</p>
施設部長	<p>葛岡工場における収集車両の混雑については、特にお盆期間やゴールデンウィークに自己搬入の車両で混雑することが常態化している。今後、受付の開始時間を早めるなどの対策を考えており、収集車両についても、あわせて、混雑回避できるように検討を進めていくつもりである。今泉工場の規模縮小による影響についても注視しながら検討してまいりたい。</p>
橋本委員	<p>先ほど建て替えの必要性についての説明があったが、物には耐用年数があり、焼却炉の耐用年数と建物の耐用年数がある。昭和60年から供用されていることから、建物の耐用年数に対して焼却炉の方が古くなったのか、焼却炉は新しいけれども建物が古くなったのか、どうしても一緒に建替えなければならないものなのか、その辺の考え方をお聞かせいただきたい。</p> <p>また、これから一般廃棄物処理基本計画に示すごみ量に基づい</p>

<p>施設課長</p>	<p>て基本構想と基本計画の中で決まっていくとは思いますが、現段階では一日何トンほどの処理能力の焼却炉が、いくつ必要と想定しているのかお聞きしたい。</p> <p>焼却炉の処理能力については、今後の基本計画の中で検討していくこととしており、現時点で具体的な数値は持ちあわせていないが、縮小できる方向については間違いないと考えている。その根拠は先程申し上げたとおり、直近の今泉工場の実績が他工場に比べて少ないというところで、今泉工場に必要な能力分だけを新たに建設することを考えている。</p>
<p>施設部長</p>	<p>現在の今泉工場は、処理能力 200 トンの焼却炉が 3 炉あり、合計で一日最大 600 トンというところだが、概ね 3 分の 2 程度が狙いどころではないかと考えている。</p>
<p>橋本委員</p>	<p>最後に一点だけ聞かせてほしい。本市では、一般廃棄物処理基本計画の中でごみ減量を推進している。本市の努力も今後さらに必要になってくるが、受け入れている富谷市のごみ量も処理量に大きく関係してくると思う。この資料では、富谷市から受け入れている数字を見ると横ばいだが、富谷市は開発行為や人口が増加していることもあり、今後は横ばいどころか少し増えてくることも想定もされる。仙台市としては富谷市とどのような連携や話し合いをしながら本市の一般廃棄物処理基本計画を進めていこうとしているのか、現段階と今後の想定等あればお知らせいただきたい。</p>
<p>施設課長</p>	<p>富谷市とは広域行政協議会の中で、建替えについても情報共有をしながら進めていかなければならないと考えている。富谷市のごみについては、基本、松森工場で処理しているが、富谷市にも一層のごみ減量・リサイクルというところについて、情報共有・意見交換を進めてまいりたい。</p>
<p>久田会長</p>	<p>私から付け加えさせていただくと、橋本委員よりご指摘のあった処理能力というのが、昭和 60 年の建設当時から今とだいぶ変わっていると思う。廃棄物の量だけではなくて、いかに二酸化炭素を排出しない、高効率な施設にするかであるとか、いろんな面で能力が求められているのが今ではないかと思う。老朽化だけではなく、そういう能力をもった施設に変わらなければならないところで、既存不適格的に更新の必要にも迫られているのではないかと思う。いろいろなことが想定されるため、それについて、しかるべきお答えができるようにご準備されたほうがよろしいかと思う。</p>

施設部長	<p>高効率という視点でいうと、3ページの今泉・葛岡・松森と、稼働開始年度が後ろになればなるほど、発電効率は上がってきている。処理能力は同じ600トンだが、今泉工場は3,500キロワットの発電機、葛岡工場は11,800キロワット、松森工場は17,500キロワットと格段に熱回収効率が上がっている。最近のごみ焼却施設だとさらに熱回収効率が上がっているといわれているため、そういったことを具備していくのは当然と考えている。</p> <p>そのうえで、昨今の脱炭素の流れのなかで、新技術をどこまで取り入れることができるのか、といったことも視野に入れながら検討を進めていく必要があると考えているため、今後、基本構想・基本計画の中で十分に議論を尽くしていきたいと考えている。</p>
久田会長	<p>民間活力の活用という話もあったが、おそらく廃棄物処理という観点だけではなく、それを通じたサービスみたいなこともいろいろお考えになり、ポジティブな廃棄物処理をお考えになるだろうと思うので、そういう先進的な取り組みにつなげていただければと思う。</p> <p>18ページの今後の進め方について、建替検討委員会が別途設置されるが、こういうかたちで私ども廃棄物対策審議会にもご報告いただき、パブコメと同時にコメント等具申することになるかと思う。それぞれの委員会・審議会の役割であるとか、本審議会に期待されることであるとか、少し整理して、私どもの立ち位置が明確になれば、それに応じたかたちのご発言もいただけるのではないかと思うので、フォローしていただければと思う。</p>
施設課長	<p>その点については、随時ご報告をさせていただければと思う。</p>
久田会長	<p>次に移りたいと思う。(2)製品プラスチック分別収集の開始について、事務局の方から説明をお願いします。</p>
廃棄物企画課長	<p><資料2に基づき説明></p>
鈴木委員	<p>はじめに、地元の太白区ひより台は、プラスチック分別収集の先行実施地区に選定いただき、1月6日に事務局と私ども、市長も見えられ、朝7時半からの排出の状況を見ていただいた。朝早かったこともあり、出し方が若干鈍かったが、9時頃見に行ったところ、だいぶいっぱいになっていた。</p> <p>それから、お願いであるが、今説明のあったプラスチックの分別収集の開始について、2月の市連合町内会長会で説明をいただきたい。単位町内会の方からも何かPRできると思う。我々の日常生</p>

	<p>活のことであり、協力するので、ぜひお願いしたい。</p>
<p>廃棄物企画課長</p>	<p>日程を調整させていただき、ご報告させていただきたい。引き続きよろしく願います。</p>
<p>遠藤副会長</p>	<p>インターネット広告について1点教えていただきたい。広告を見られる方は、例えば住所であるとか、検索している場所が仙台市内の方のみに閲覧できる設定になっているのか。資料のイラストでは、仙台市からのお知らせと分かるような表記があるように見えないが、他の自治体からインターネットを見ている方には出ない設定になっているのか。</p>
<p>廃棄物企画課長</p>	<p>ご指摘のとおり、仙台市内で検索をされた方に出てくるよう設定しており、ほかの自治体の方にはこういったバナー広告は出ない予定である。</p>
<p>遠藤副会長</p>	<p>他の自治体の方が、「うちの自治体も入れていいんだ」と思わないといいなと思ひ、場合によっては広告に「仙台市」と入っていたほうが、仮に見ても間違えないのかなと思う。</p>
<p>廃棄物企画課長</p>	<p>7ページのドアステッカーで「仙台市環境局」と右端の方に載っているが、バナー広告にもこのような形で「仙台市環境局」と入る予定である。</p>
<p>久田会長</p>	<p>確かににちょっとご留意されたほうがよいかも。広告については、既に準備していると思われるので、今後、同様の広告を行う際には、今のご意見を参考にさせていただきたい。</p>
<p>橋本委員</p>	<p>かねてからご連絡をいただいていたが、1月4日から市内10地区で先行実施をしている。先ほど鈴木委員からは「かなりの量出していた」ということで、住民の方々が理解を示してご協力いただいていると思うが、具体的にはどうか。シリコンやゴムなどかなりわかりづらいものもあり、我々自身もそうだが、こういったものはなかなか高齢の方はかなりわかりにくいのかなと感じた。こういうものはダメですよとパンフレットには書いてあるが、こういったダメなものが混入していたなど、その辺の実施状況を教えていただきたい。</p> <p>また仙台市全域では4月3日からスタートするが、先行実施を踏まえて、どの程度の量を見込んでいるのか、お聞きしたい。</p> <p>最後に、パンフレットの最後のページ、主な品目の中に、いず</p>

<p>廃棄物企画課長</p>	<p>れもプラスチック素材 100%のものが対象であると示されているが、100%というものが市民の方々に果たしてわかるのかどうか。そうでないものは、これからも家庭ごみに入れていいんですよ、と理解していいのか、この3点を教えていただきたい。</p> <p>先行実施については、各区2カ所の計10地区で実施している。令和3年度に各区1地区の5地区で実証事業を行ったが、新たに各区1地区ずつの5地区を加え、市内10地区とした。先ほど鈴木委員からもご紹介いただいたが、1月6日に太白区ひより台で、市長も町内会の方と一緒に排出状況の視察をさせていただいた。地域の方からは、これまでは容器包装だけが対象であったが、製品プラスチックも一緒にリサイクルできるということで、大変わかりやすくなった、リサイクルとして出せるものが増えることはとてもいいことだ、というようなお声をいただいた。</p> <p>次に、今後の製品プラスチック一括回収の見込み量についてである。資料2でご説明させていただいたが、仙台市では、国から再商品化計画の認定いただいております、その中では、これまでのプラスチック製容器包装の資源化量から、15%程度増えると想定している。量的には、今まで約12,000トンの資源化量が、15,000トン程度にまで増えると想定している。</p> <p>最後に、プラスチック素材100%というところについては、こちらのA3のリーフレットでもお示ししているが、見た目には金属などのプラスチック以外の素材が含まれるものは、今回対象ではないため、従来通り家庭ごみということになる。一方で、ご指摘いただいたとおり、ゴムやシリコンなど、なかなか見た目ではプラスチックかどうかわかりづらいものについては、リサイクル施設で選別をするため、まずは見た目でご判断いただき、それでもわからないものについては、赤い指定袋に入れていただくように説明会でもご説明している。</p>
<p>藤田委員</p>	<p>この取り組みは、すごく私にはいいと思っている。仙台が初めてということであるが、他にも広がって、全国的にもプラのリサイクルが進むといいなと思う。先ほど15%程度増える見込みとおっしゃったが、しばらくやってみて、プラごみがどのくらい増えてリサイクル率がどのくらい上がったのか、その分一般ごみがこれだけ減ったといった話や、このシステムの効果や課題、改善点について、定期的な振り返りや検証をして、他の自治体に対してデータを提示するというようなことは考えられているのか。</p>
<p>廃棄物企画課長</p>	<p>仙台市では、家庭ごみの組成調査を行っており、家庭ごみの中</p>

<p>廃棄物事業部長</p>	<p>に、プラスチック製容器包装や紙類といった資源物がどれだけ混入しているのかを、抽出して調査している。今回の一括回収によって、収集量が15%程度増えたとご説明したが、実際にどれくらい増えたのかというところと併せて、家庭ごみの中に混入する資源物が、どのように変化するのかといったところも、注視をしていきたいと考えている。</p> <p>他都市への広がりであるが、私どもは同じ政令市で廃棄物の処理部門と定期的に様々な情報を共有している。その他、全国の自治体が加入する全都清と呼ばれる協議会を持っており、常にこの中でも情報を共有している。さらに東北地区の中でも、私どもが一番先に取り組んでいるということで、現在も研修会等の講師という形で出向いているいろいろとお話をさせていただいている。</p> <p>この製品プラスチックの一括回収・リサイクルの推進というのは、国もそうであるが、全国の自治体にとって非常に大きな課題であるため、私ども仙台市としても積極的にそういった場を通じて情報を提供し、意見交換をしていきたいと考えている。</p> <p>また本審議会の場合では、毎年度、昨年度の実績についてご報告させていただいており、その中で、始めてみてどうだったのか、効果や課題等について定期的にご報告申し上げたいと考えている。</p>
<p>久田会長</p>	<p>効果については、燃料の使用量とか、いろんな角度から評価されるとよろしいと思うので参考にさせていただきたい。これまでの議論を振り返ると、ごみの処分の仕方と燃料の使用量というのはトレードオフ関係にあるようなので、そこにも効果があるかもしれない。多角的なところからご検証いただきたい。</p>
<p>久田会長</p>	<p>それでは、(2) 製品プラスチック分別収集の開始についてはここまでにしたいと思う。</p> <p>次に(3) その他、だが、委員の改選もあったため、ぜひ皆様方から一言ずつでもご発言頂戴したいと思う。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>先ほどの製品プラスチック分別収集に関して、子どもたちへの広報というのも引き続きやっていただければ良いと思う。清掃工場の見学は小学4年生くらいのお子さんたちがされていると思うが、そのようなときに「こういった分別の仕方が変わっているんだよ」と子どもたちに伝えれば、それが親に伝わり、子どもから注意されるようなことも出てくると思う。本日の報告であった周知広報は、割と大人向けかなと感じた。来年度以降、子ども向けの広報というものもぜひ考えていただければと思う。</p>

久田会長	<p>今、ちょうど施設見学という話が出たが、今日ご報告のあった今泉工場について、建替検討委員会の方で中間案が出た後に、私ども廃対審の方で報告を受けることになるが、この辺の時期で一度私たちが現地を視察させていただいたほうがいいのではないかと思います。ご賛同いただけるのであれば、まとまってか、個別であるとか、ご対応については事務局にお任せするが、現地を確認できるようにご準備していただきたいと思うがよろしいか。</p>
全委員	<p>異議なし</p>
久田会長	<p>では、賛同いただいたということで、事務局に対応願いたいと思う。ほかにいかがか。</p>
保科環境省東北地方環境事務所資源循環課長(田村委員代理)	<p>冒頭、局長のご挨拶にもあったように、政令市、全国に先駆けてプラスチック資源循環促進法に則りプラスチックの回収をやっていたとということで、環境省としても御礼を申し上げたい。今回は100%プラスチックが対象ということであるが、全国的にもプラごみは重要な課題となる中で、この取り組みを広げていただき、プラスチックごみ全体の削減につなげていただければと考えている。これからも仙台市と協力・連携させていただきながら、情報を共有するなり、提供するというところで協力をさせていただきたいと思うので、どうぞよろしくお願いする。</p>
北條委員	<p>製品プラスチック分別収集にはとても興味があるので、今後の実施状況に注目していきたい。この取り組みが今後、今泉工場の建替えの規模の話などにも関係してくるかと思うので、いろいろと勉強させていただければと思う。</p>
佐藤(朋)委員	<p>4月から多くのプラスチックごみが出ることになると思うが、処理の方の工場が大きくなるとか、そういったことはあるのか。</p>
廃棄物企画課長	<p>資料2でご説明させていただいたが、現在のプラスチック製容器包装は、市内のJ&T環境という民間のリサイクル施設で処理しているが、4月から引き続きこちらの施設でリサイクルを行う。特段、施設の改修や増設の対応はなく、従来どおりの工程でリサイクルが可能であることを、昨年度の実証事業の中でも確認している。</p>
佐藤(進)委員	<p>弊社の地元の福島の話になるが、震災があった際に、相馬市、福島市の処理施設が止まってしまった。その時は、家庭からのご</p>

久田会長	<p>みが優先ということで、事業ごみの持込が一旦ストップされ、社内での調整に苦慮した経験がある。今泉工場の建替えの際には、処理能力という話があったが、震災への対応という点も考慮いただき、安定的な体制を整えていただければと思う。</p> <p>以上で終了とする。円滑な議事運営に協力いただき感謝する。 以上</p>
------	--